

29吹下経第5261号
平成30年01月31日

国土交通大臣 殿

吹田市長



社会資本総合整備計画について

「社会資本整備総合交付金に係る計画等について」第1第1項に基づき、別添のとおり社会資本総合整備計画を取りまとめたので提出する。

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年01月31日

計画の名称	吹田市下水道 安心・安全のまちづくり（重点計画）（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度 ～ 平成32年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	吹田市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,904	A	2,904	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)
1	川面処理区浸水被害軽減総合事業に位置付けたハード対策（既往最大降雨）のうち寿片山幹線の整備率を0%（H30）から100%（H32）に向上させる。 計画期間内の川面処理区浸水被害軽減総合事業におけるハード対策（既往最大降雨）の幹線整備率（%） 計画期間内の浸水被害軽減対策の幹線整備済み延長（km） / 計画期間内の浸水被害軽減対策の幹線整備延長（km） ※計画期間内の幹線整備延長：L=2.7km	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	吹田市	直接	吹田市	管渠（ 合流）	新設	川面処理区 下水道浸水 被害軽減総合事業（H28～ H35）	合流管Φ2800mm L=2,703 m	吹田市	■	■	■			2,904		策定済
下水道浸水被害軽減総合計画																			
											小計						2,904		
											合計						2,904		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02		
配分額 (a)	570	159	0		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	570	159	0		
前年度からの繰越額 (d)	0	100	80		
支払済額 (e)	470	179	80		
翌年度繰越額 (f)	100	80	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:吹田市下水道 安心・安全のまちづくり(重点計画)(防災・安全) 事業主体名:吹田市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①社会資本整備重点計画との適合等	
1)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)計画について関係機関等の理解が得られている。	○